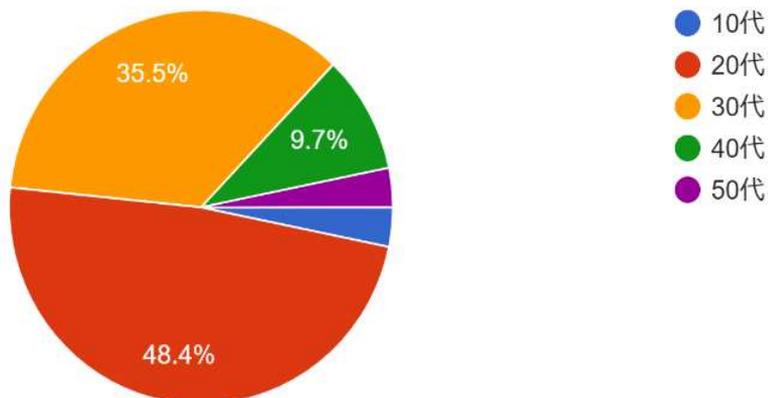


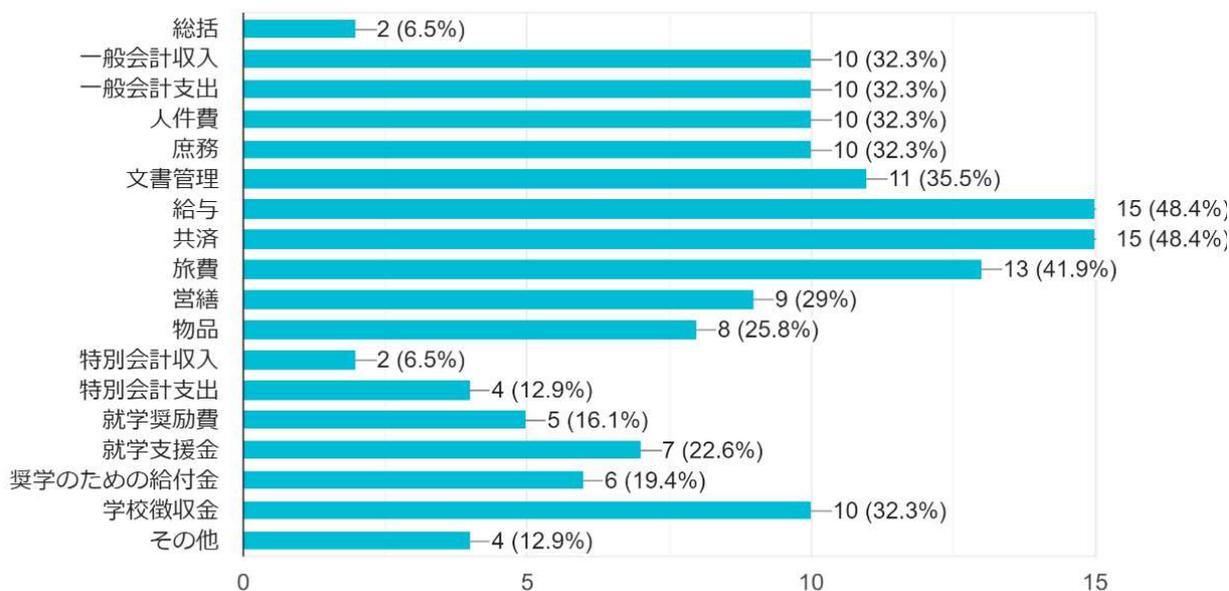
令和5年度（2023年度）フォローアップ研修会アンケート結果

令和5年（2023年）9月4日現在

1. 年齢（31件の回答）

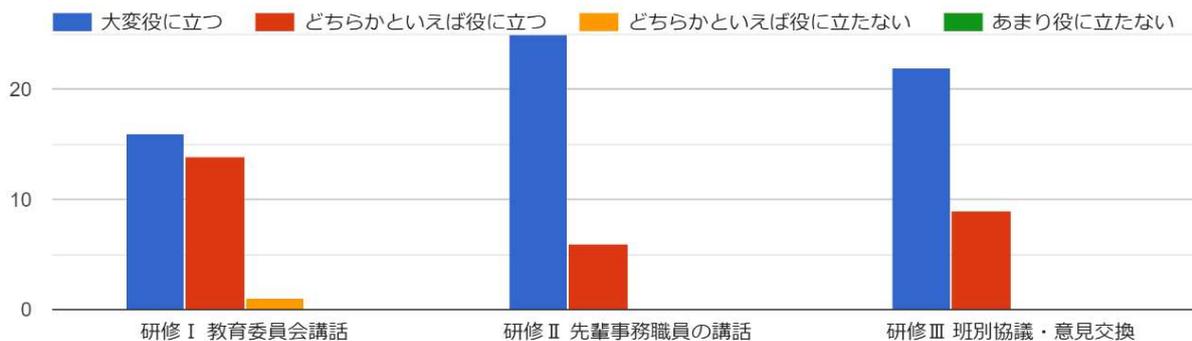


2. 担当業務（31件の回答）



3. フォローアップ研修会について

今回の研究会はあなたの今後の仕事に役立つ内容だったでしょうか。



参考になったこと、また研修成果及び意見・要望・感想等ありましたら、具体的にお書き下さい。

研修Ⅰ 教育委員会講話「ジョブローテーションと人材育成について」

- ・グラフで現状が見れてよかったです。
- ・ジョブローテーションの概要や、実態について客観的に知ることができました。
- ・今後のキャリアについて深く考えさせられた。
- ・とてもわかりやすく勉強になりました。
- ・ジョブローテーションがどのようなものであるのかを改めて考えることができた。
- ・ジョブ・ローテーションを経てあとを見据えて今は前向きに頑張りたいと思った。
- ・普段なかなか聞くことができない、大先輩のお話をきくことができよかったです。目指すべき姿を改めて考えることができました。
- ・自分のステップアップのためにいいなと思いました。不安はありますが、色んな場所を経験したいです。
- ・求める事務職員像に近づけるよう日々の業務に取り組みたい。
- ・職種の全体像を把握することができ、自分がどの段階かを把握できたので大変有意義でした。
- ・話の内容としては全体的に聞いた話が多かったが、最初のご自身の各学校等の話はためになった。また講話自体も耳が痛いことも多かった。
- ・「何事も前向きに」の気持ちを持つことが仕事の進行や日々の生活に影響していくのかなと思いました。
- ・将来を見据えて今の業務に励もうと思いました。
- ・事務職員として、正確な仕事をしなければならない意識が高まった。また、ジョブローテーションが経験を積むために必須ということも意識できた。
- ・ジョブローテーションを経験する上で必要な心構えや求められる事務職員像についての話や、事務職員の先輩としての話も聞くことができたので、参考になりました。
- ・日々の多様な業務に携わりつつ、時には同じ事務室の職員や他校の職員等、横のつながりも大事にできる事務職員を目指そうと思いました。
- ・どの職種にいても、求められる事務職員像を意識しながら業務にあたりたい。
- ・自分自身まだ県立学校以外での勤務のイメージが湧いていません。しかし、様々な現場を経験して得られる知識は大きな財産となることはお話を伺って理解出来ました。また、昨年の新任研修でいただいた、求める事務職員像「自ら考えてチャレンジし、積極的に協働しながら、高い意識を持って実践する職員」を目指して、今一度初心に戻って頑張る必要があると痛感しました。
- ・自分のキャリアアップのためにジョブローテーションで色々な経験を積み、前向きに仕事をし周りからの信頼を得られるような事務職員になりたいと思った。
- ・各分野での経験によって、現在の業務を別の視点から考えることができる。
- ・ジョブローテーションの現状を知ることができて良かった。
- ・今後、自分が経験するであろうジョブローテーションでの具体的な体験談を聞いて心構えができました。
- ・今後いろんな校種を経験して自分自身の成長につなげていきたいと思いました。
- ・今後10年、20年後に自身がどのように県教育に携わっていくのか、考えるきっかけとなりました。今後の業務では目先の業務をこなすだけでなく、その業務の根拠となる法令や、その目的などを意識して取り組みたいと思います。
- ・自分のこれからの事務職員としての流れを見ることができたので、大変ためになりました。初任のときからなんとなく聞いたことのあるジョブローテーションですが、いまいちその内容がわかっていませんでした（10年間で行政、県立、義務制をまわるくらい）。その流れにのって、今年行政から県立に出て、5ヶ月仕事をしましたが、初めての業務への不安感や業務のギャップにずっと悩んでいました。しかし、今は自分の適性を試し、経験を積んでいる期間なんだということがわかり、この10年が終わったあと、自分がなりたい、満足の行く事務職員になるために頑張ろうと思うことができました。本当に参加できてよかったです。

【研修Ⅱ 先輩事務職員の講話「ジョブローテーションを経験して」】

- ジョブローテーションについて具体的に説明してもらいイメージがつかえました。
- それぞれの校種で様々な経験をしていきたいと思った。
- いろいろな経験談を聞くことができ勉強になりました。
- ジョブローテーションによってどのような効果があるのを感じられた。
- 先輩も異動の年は慣れるまで大変だったと聞き、自分だけではないと思えた。講話は今後も続けてほしい。
- 3業種それぞれに、良さや大変さがあることがわかりました。清田先生のように、ツボを押さえた仕事をしたいと思いました。
- 毎回新採みたいだ。という言葉に安心しました。
- それぞれの校種での悩みやそれに対する解決策を聞くことができよかった。
- リアルな体験談、その時々感想が聞けて大変参考になりました。前例のない課題に立ち向かう姿等が想像できて大変有意義な時間でした。
- 先輩のジョブローテーションを経験しての話のため参考や新しい発見等があった。
- 生の声だったのでとてもよかった。
- 義務制から県立に異動すると仕事の幅が結構違うので、義務は義務、県立は県立のやり方を身につけたいなと思いました。
- 今後ジョブローテーションを経験するうえで、仕事をする中で気をつけておくべきことがわかりました。
- 3種類の職域を経験された先輩の話はとても貴重だと感じた。ジョブローテーションへの不安はみんな持ち合わせていると思うので、それを少しポジティブに捉えるきっかけになったのではないかと感じた。
- 3つの業種を経験されていて、大変だなと思いました。しかし、その中で沢山の経験や知識を得られていて、大変だけどやりがいがあるのではないかと、ジョブローテーションに対して前向きな気持ちになりました。
- 仕事をする上で大切にしていることがとても参考になった。先輩の経験を聞くことで自分のこれからのイメージが前よりもはっきりしたためになった。
- 3校種のそれぞれでの経験談に加え、ご自身が仕事をする上で大切にしていることを大変わかりやすくお話しくださり、今後自分も取り入れていきたいなと思いました。
- 前年度の資料だけでなく、しっかり根拠や法令を理解しながら起案することが大事だと思いました。
- 県立と義務、行政を経験されている方の貴重なお話を聞くことができよかったです。今後の異動の際などに活用できると思いました。
- 共感する部分がたくさんありました。環境が変わるときはきつい部分もあるけれど成長に繋がることを忘れず、めげずに頑張りたいです。
- 「相手のツボをおさえる」、前職でも意識していたことですが、事務職員でも必要なことが強く感じられました。
- 仕事をする上で大切にしていることが、そのとおりだと思いとても参考になった。自分の仕事の先を想像して仕事をするのを私も心がけたい。
- それぞれツボが違うというところにぐっと来た、誰にとってもわかりやすく説明することはそういうところを理解することだと思った。
- 最初の異動を経験して、今まで得てきた知識が通用しなかったこともあり、難しいなと感じることがこの半年間で多々ありましたが、ジョブローテーションを経験された話をきいて、自分が置かれた場所でどれだけ自分なりに適応できるかということが大事なのだなと感じました。今はまだ県立学校の仕組みに慣れることにいっぱいいっぱいですが、これから自分のやれることを伸ばしていけたらなと思います。
- 異動で苦労されたんだなあと思った。しかしその分いろいろな経験ができて良い面も沢山あることがわかった。
- 行政や義務、県立学校など職場によって仕事内容が大きく違うことがわかって、今後自分が異動する際についていけるか少し心配になりました。

- ・私も義務制から県立への移動でしたが先輩の異動して感じたことと同じことを感じていて、みんな同じなんだと安心しました。
- ・実際にジョブローテーションを経験された先輩からの話を聞き、業務内容が大きく異なり困惑することや、異動先でまた一から業務を覚えたという話を聞き不安になりました。しかし、他校種での経験が今生きていると聞き、前向きに業務に取り組みたいと思いました。
- ・私が今感じている不安や気持ちを代弁しているかのようなお話で、自分がいま感じていることは、皆さんが経験していることで、私だけじゃないんだと思い、心が軽くなる感じがしました。私も環境の変化がとても苦手なので、先輩のように様々な業種で頑張っていきたいと思いました。本当にお聞きできてよかったです。

【研修Ⅲ 班別協議・意見交換】

- ・同じ悩みを共有出来たり、交流が深まって楽しむことが出来ました。グーグルクロームの活用法を新たに学ぶことが出来ました。
- ・他の先生の良い経験も悪い経験も知れてよかった。
- ・他校の状況等知ることができ、意見交換ができたので今後にかしていけたらと思います。
- ・同じ業務を担当する先生方の話を聞くことができてよかった。自分だけじゃないのかの不安に思っていたことが少し解消された。
- ・同じ分掌担当で協議できたのが良かった。
- ・Chromebookはほとんど使ったことがなかったので、染矢事務長先生の研修は大変勉強になりました。もっと活用していきたいです。年代の近い方と自由に話す時間は、案外貴重なので良い時間になりました。
- ・自分が普段悩んでいることを別事務職員の方に聞いてもらえたことが嬉しかった。またこのような機会があったら嬉しいです。
- ・交流を深めることができた。
- ・日頃のつまづき等が少し解決したように感じます。
- ・普段会う機会が少ない他の県立学校の事務職員ということで大変参考になる話が多かった。
- ・笑顔がみれてよかった。
- ・同じ県立でも悩みや失敗経験はそれぞれなので、参考になりました。
- ・自分だけでなく、みんなが同じような失敗や不安を抱えていることがわかり、不安が少し和らぎました。
- ・同じ業務を行っているもの同士での研修で、とても有意義だった。それぞれの悩みや失敗を聞けたのもよかった。「知識の染み込んだ事務職員」は目指すべき目標になると感じた。
- ・初めてお会いする先生ばかりでしたが話し始めると打ち解けて、周りに同年代の事務職員がたくさんいると思うと、不安がなくなりました。普段いつもの事務室の中で業務をしているので、こうして他の学校の先生と話せる機会はありがたかったです。
- ・自分がしている業務の困りごとを先輩方に聞いてもらえて、とても参考になった。困っているのは自分だけじゃない事もわかって勇気をもらった。
- ・担当業務についての今の悩みや、今後どんな事務職員をめざすかについて、素直に思いを話し合えた貴重な時間でした。班のみなさんいい方で、今後も困ったときに助け合えればとてもよいなと思いました。
- ・他の職員の様々な失敗談やその後どう対応したかの意見を聞くことができ、自分一人だけでなく、いろんな職員と関わりながら成長していきたい。
- ・横のつながり、すごく深められたと思います。
同じ業務をしている者同士の悩み事や意見が沢山交換できました。
- ・繋がりを広げられたことや悩みなどを共有できたことが新鮮で来て良かったと思いました。まだ憧れる事務職員でしかないの、憧れられる事務職員になれるよう今後業務に取り組んでいきたいです。
- ・自分自身の失敗談や質問を沢山してしまい、他の職員の方々の質問時間を奪ってしまって申し訳無かったです。他の事務職員の方々も同様の悩みを抱えて業務に邁進していることを知って、勇気が湧いてきました。

- ・自分の班の意見も他の班の意見もとても参考になった。自分の振り返りにもなったし、ほかの人の失敗談を聞くことで、勉強になりました。
- ・事務職の仕事は、人とのコミュニケーションがとても大事だと思った。皆さんそれぞれにいろんなアプローチで仕事を工夫されていて、連携をとってされていることが印象的だった。
- ・他の学校の事務職員の方と意見交換できて、同じ悩みを共有できることの強みを感じました。なかなか自分から質問するということが苦手ですが、積極的にいろんな人に質問できるようにクロムブックも活用していきたいです。
- ・他校の方のいろんな話を行けて良い機会になった。
- ・自分以外にも同じようなミスをしている人がいることがわかって安心しました。
- ・意見交換の際に、今の悩みも話すことができ、県立の経験が同じくらいの先生たちなので共感できてよかった。話しかけられやすい事務職員となって丁寧に仕事をしていきたい。
- ・同じ業務を担当している事務職員と話ことができ、あるあるの会話が楽しかったです。これから業務を進めていく上でためになりました。何かあったら相談したいと思います。

4. フォローアップ研修会の運営に関する意見・要望・感想等ありましたらお書きください。（実施時期、時間配分、講話、実務研修等）

- ・どうだったかな？率直な意見がほしいですね。
- ・すべてとても良かったと思います。
- ・このような機会を作っていただきありがとうございました。（2人）
- ・もう少し早い時期に実施していただけるとありがたいです。（2人）
- ・担当業務についてのグループ協議。授業料の業務について難しいと感じているので、同じ業務を担当している方と話したいと思いました。
- ・最初少しかたい会だな感じた。若い人ばかりなのでもう少しフランクにしてもいいと思う。3年目以内で今回参加していない人へのフォローアップが必要。
- ・本日の研修大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・普段はなかなか交流のない人とつながることができて、良い機会になりました。
- ・9月1日開催は始業式とも重なるため、できれば少しずらしてもらえるとありがたいです。
- ・経験年数3年以上で、場違いだったかな？と参加するまで不安でしたが、大変ためになりました。今年度異動の予定なのでとてもいい機会でした。ありがとうございました。
- ・自分のこれからをイメージでき、いい時間だった。
- ・県立学校は業務をする上で難しいなと感じることが大変多いですが、ジョブローテーションで同じ悩みをもつ仲間がいることが実感できて、有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・年度の半ばあたりで他の職員との業務の確認や講話・これからの業務遂行について等の話を聞くことができ、とても充実した時間を過ごせた。
- ・毎年、できれば年に3回ほどあったらいいなあ、みんなにあうのがたのしみだなと思います。不安が少し軽くなるので、とても大事な時間だと思いました。判別研修はもう少し長くしてみたかったです。
- ・あっという間に終わりました。今ぐらいの時期だと、担当業務の悩みを共有できることが多いと思いました。とても勉強になりました。
- ・本日は有意義な時間を頂きましてありがとうございました。欲を言えば、最後の班別協議の時間がもう少しあれば、と感じました。それだけ協議が盛り上がった証拠でもあると思います。
- ・とてもためになる研修でした。ありがとうございました。
- ・いろんな問題を共有できたのはすごく良かった。しかし研修の最後に「わからないことは自分より上の経験のある人に聞いてほしい」と言われいたとおり、班内で出た問題を、意見交換で解決することができなかった。
- ・今日は経験が同じくらいの県立の先生たちとの研修で参加して良かったです。ありがとうございました。
- ・自分が悩んでいたこと、不安に思っていることが軽くなったので、参加できて良かったです。開催いただき、ありがとうございました。